

【概要】

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（北海道）

※本調査は、令和4年度（2022年度）間の北海道の公立学校における暴力行為、いじめ、不登校、中途退学の状況を令和5年度（2023年度）に調査し、公表するものです。また、本数値には、札幌市立学校も含まれています。

■学校数及び児童生徒数

	公立学校数			在籍児童生徒数		
	令和3年度	令和4年度	前年度比	令和3年度	令和4年度	前年度比
小学校	992校	978校	▲14校	231,015人	227,259人	▲3,756人
中学校	576校	575校	▲1校	119,857人	118,095人	▲1,762人
高等学校	224校	224校	0校	88,420人	85,435人	▲2,985人
小・中・高等学校の計	1,792校	1,777校	▲15校	439,292人	430,789人	▲8,503人
特別支援学校	72校	72校	0校	5,640人	5,798人	158人
合計	1,864校	1,849校	▲15校	444,932人	436,587人	▲8,345人

※令和4年（2022年）5月1日現在の数値である。

ただし、高等学校在籍生徒数には、高等学校通信制課程の在籍者数（令和3年度（2021年度）は2,827人、令和4年度（2022年度）は3,001人）も計上されている。

※いじめにおける高等学校の学校総数は、併置校を全日制、定時制、通信制それぞれを1校で計上し、257校となる。

■結果の概要

1 公立小・中学校、高等学校の暴力行為の発生件数

	令和3年度		令和4年度		前年度比	
	発生件数	(1,000人当たり)	発生件数	(1,000人当たり)	発生件数	(1,000人当たり)
小学校	194件	(0.8件)	300件	(1.3件)	106件	(0.5件)
中学校	203件	(1.7件)	308件	(2.6件)	105件	(0.9件)
高等学校	77件	(0.9件)	121件	(1.4件)	44件	(0.5件)
合計	474件	(1.1件)	729件	(1.7件)	255件	(0.6件)

2 公立小・中学校、高等学校、特別支援学校のいじめの認知件数

	令和3年度		令和4年度		前年度比	
	認知件数	(1,000人当たり)	認知件数	(1,000人当たり)	認知件数	(1,000人当たり)
小学校	18,552件	(80.3件)	28,387件	(124.9件)	9,835件	(44.6件)
中学校	2,906件	(24.2件)	4,256件	(36.0件)	1,350件	(11.8件)
高等学校	533件	(6.0件)	700件	(8.2件)	167件	(2.2件)
特別支援学校	92件	(16.3件)	102件	(17.6件)	10件	(1.3件)
合計	22,083件	(49.6件)	33,445件	(76.6件)	11,362件	(27.0件)

3 公立小・中学校の不登校児童生徒数

	令和3年度		令和4年度		前年度比	
	不登校児童生徒数	(1,000人当たり)	不登校児童生徒数	(1,000人当たり)	不登校児童生徒数	(1,000人当たり)
小学校	3,221人	(13.9人)	3,713人	(16.3人)	492人	(2.4人)
中学校	7,243人	(60.4人)	8,463人	(71.7人)	1,220人	(11.3人)
合計	10,464人	(29.8人)	12,176人	(35.3人)	1,712人	(5.5人)

4 公立高等学校の不登校生徒数（通信制高校の在籍者を除く。）

	令和3年度	令和4年度	前年度比
不登校生徒数 (1,000人当たり)	822人 (9.6人)	826人 (10.0人)	4人 (0.4人)

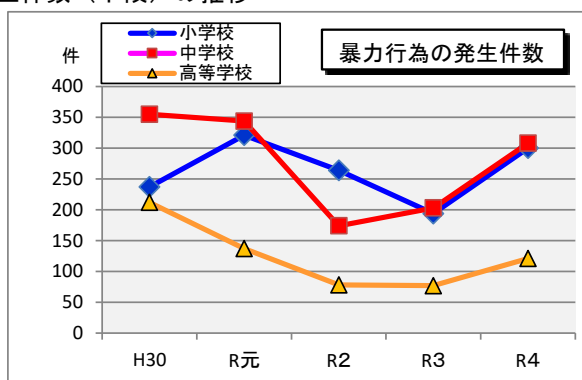
5 公立高等学校の中途退学者数

	令和3年度	令和4年度	前年度比
中途退学者数 (中途退学率)	1,051人 (1.2%)	1,403人 (1.6%)	352人 (0.4%)

公立小・中学校、高等学校の暴力行為

1 暴力行為の発生件数（上段）と1,000人当たりの発生件数（下段）の推移

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
小学校 (1,000人当たり)	237 (1.0)	321 (1.3)	264 (1.1)	194 (0.8)	300 (1.3)
中学校 (1,000人当たり)	355 (2.9)	344 (2.8)	174 (1.5)	203 (1.7)	308 (2.6)
高等学校 (1,000人当たり)	212 (2.2)	137 (1.4)	78 (0.8)	77 (0.9)	121 (1.4)
計 (1,000人当たり)	804 (1.7)	802 (1.8)	516 (1.2)	474 (1.1)	729 (1.7)



<前年度との比較>

- 小学校 ~106件増加
- 中学校 ~105件増加
- 高等学校 ~44件増加
- 全体 ~255件増加

【暴力行為の定義】「暴力行為」を「自校の児童生徒が、故意に有形力（目に見える物理的な力）を加える行為」として調査。本調査においては、当該暴力行為によってけががあるかないかといったことや、けがによる病院の診断書、被害者による警察への被害届の有無などにかかわらず、暴力行為に該当するものを全て対象とすることとしている。

2 学校種別暴力行為の発生学校数及び発生件数

	令和4年度			令和3年度		
	発生学校数		発生件数	発生学校数		発生件数
	学校数	(発生率)		学校数	(発生率)	
小学校	65校	(6.6%)	300件	50校	(5.0%)	194件
中学校	91校	(15.8%)	308件	62校	(10.8%)	203件
高等学校	60校	(26.8%)	121件	40校	(17.9%)	77件
合計	216校	(12.2%)	729件	152校	(8.5%)	474件

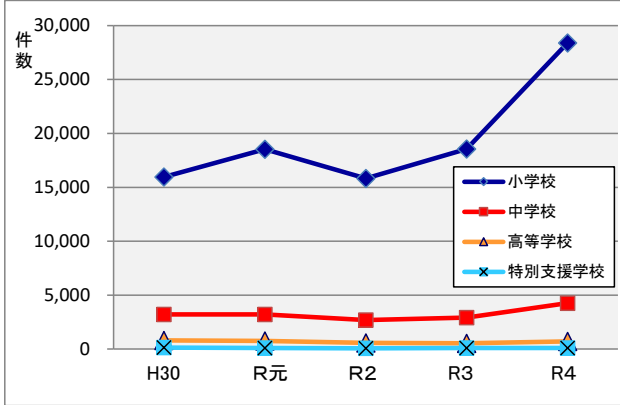
※発生率 = (発生学校数 / 公立学校総数) × 100

3 暴力行為の種別発生学校数及び発生件数

		令和4年度		令和3年度	
		発生学校数	発生件数	発生学校数	発生件数
対教師暴力	小学校	28校	93件	24校	58件
	中学校	21校	42件	11校	20件
	高等学校	2校	3件	5校	6件
	合計	51校	138件	40校	84件
生徒間暴力	小学校	46校	165件	28校	117件
	中学校	71校	191件	47校	107件
	高等学校	55校	98件	32校	53件
	合計	172校	454件	107校	277件
対人暴力	小学校	2校	2件	4校	4件
	中学校	4校	5件	5校	8件
	高等学校	3校	3件	1校	2件
	合計	9校	10件	10校	14件
器物損壊	小学校	24校	40件	11校	15件
	中学校	30校	70件	21校	68件
	高等学校	14校	17件	12校	16件
	合計	68校	127件	44校	99件

公立小・中学校、高等学校、特別支援学校のいじめ

1 いじめの認知件数の推移



【本調査におけるいじめの定義】

個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。
 「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。
 「いじめ」の中には、犯罪行為として取り扱われるべきと認められ、早期に警察に相談することが重要なものや、児童生徒の生命、身体又は財産に重大な被害が生じるような、直ちに警察に通報することが必要なものが含まれる。
 これらについては、教育的な配慮や被害者の意向への配慮の上で、早期に警察に相談・通報の上、警察と連携した対応を取ることが必要である。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
小学校	15,950 65.9	18,525 77.7	15,824 67.3	18,552 80.3	28,387 124.9
中学校	3,204 25.9	3,209 26.5	2,686 22.4	2,906 24.2	4,256 36.0
高等学校	799 8.1	749 7.8	572 6.2	533 6.0	700 8.2
特別支援学校	133 23.4	91 15.8	63 10.7	92 16.3	102 17.6
計	20,086 42.8	22,574 48.9	19,145 42.2	22,083 49.6	33,445 76.6

<前年度との比較>

- 小学校 ~ 9,835件増加
- 中学校 ~ 1,350件増加
- 高等学校 ~ 167件増加
- 特別支援学校 ~ 10件増加
- 全体 ~ 11,362件増加

※ 上段は認知件数、下段は1,000人当たりの認知件数

2 学校種別いじめの認知学校数

	認知学校数			
	学校数		認知率	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
小学校	800校	683校	81.8%	68.9%
中学校	449校	397校	78.1%	68.9%
高等学校	172校	145校	66.9%	56.4%
特別支援学校	21校	19校	29.2%	26.4%
計	1,442校	1,244校	76.6%	65.6%

※ 認知率 = (認知学校数 / 公立学校総数) × 100

3 いじめの解消状況

	いじめが解消しているもの(解消率)	
	令和4年度	令和3年度
小学校	92.6%	95.9%
中学校	92.2%	96.5%
高等学校	93.6%	96.1%
特別支援学校	94.1%	96.7%
計	92.6%	96.0%

4 いじめ発見のきっかけ (12項目から一つの項目)

	順位	いじめ発見のきっかけ			
		令和4年度	令和3年度		
小学校	①	アンケート調査など学校の取組により発見	78.3%	アンケート調査など学校の取組により発見	77.3%
	②	本人からの訴え	10.3%	本人からの訴え	12.1%
	③	学級担任が発見	6.5%	学級担任が発見	6.5%
	④	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	3.3%	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	2.8%
	⑤	児童生徒(本人を除く)からの情報	0.8%	保護者(本人の保護者を除く)からの情報	0.5%
	⑥	保護者(本人の保護者を除く)からの情報	0.3%	児童生徒(本人を除く)からの情報	0.4%
	⑦	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	0.2%	学級担任以外の教職員が発見	0.2%
	⑧	学級担任以外の教職員が発見	0.2%	養護教諭が発見	0.1%
	⑨	養護教諭が発見	0.1%	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	0.1%
	⑩	その他(匿名による投書など)	0.06%	スクールカウンセラー等の相談員が発見	0.04%
	⑪	スクールカウンセラー等の相談員が発見	0.03%	地域の住民からの情報	0.01%
	⑫	地域の住民からの情報	0.004%	その他(匿名による投書など)	0.0%
中学校	①	アンケート調査など学校の取組により発見	69.4%	アンケート調査など学校の取組により発見	71.4%
	②	本人からの訴え	15.5%	本人からの訴え	14.2%
	③	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	6.3%	当該児童生徒(本人)の保護者からの訴え	5.2%
	④	学級担任が発見	3.8%	学級担任が発見	3.8%
	⑤	児童生徒(本人を除く)からの情報	2.5%	児童生徒(本人を除く)からの情報	3.2%
	⑥	学級担任以外の教職員が発見	1.2%	保護者(本人の保護者を除く)からの情報	1.1%
	⑦	保護者(本人の保護者を除く)からの情報	0.8%	学級担任以外の教職員が発見	0.9%
	⑧	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	0.4%	養護教諭が発見	0.2%
	⑨	養護教諭が発見	0.1%	地域の住民からの情報	0.1%
	⑩	スクールカウンセラー等の相談員が発見	0.1%	学校以外の関係機関(相談機関を含む)からの情報	0.03%
	⑪	地域の住民からの情報	0.02%	スクールカウンセラー等の相談員が発見	0.0%
	⑫	その他(匿名による投書など)	0.02%	その他(匿名による投書など)	0.0%

	順位	いじめ発見のきっかけ			
		令和4年度		令和3年度	
		内容	割合	内容	割合
高等学校	①	アンケート調査など学校の取組により発見	60.0%	アンケート調査など学校の取組により発見	59.7%
	②	本人からの訴え	24.3%	本人からの訴え	26.6%
	③	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	5.7%	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	6.0%
	④	学級担任が発見	3.3%	児童生徒（本人を除く）からの情報	3.0%
	⑤	児童生徒（本人を除く）からの情報	2.6%	学級担任以外の教職員が発見	1.5%
	⑥	学級担任以外の教職員が発見	2.3%	学級担任が発見	0.9%
	⑦	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	0.9%	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.8%
	⑧	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.6%	養護教諭が発見	0.6%
	⑨	養護教諭が発見	0.3%	その他（匿名による投書など）	0.6%
	⑩	その他（匿名による投書など）	0.1%	地域の住民からの情報	0.4%
		スクールカウンセラー等の相談員が発見	0.0%	スクールカウンセラー等の相談員が発見	0.0%
		地域の住民からの情報	0.0%	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	0.0%
特別支援学校	①	アンケート調査など学校の取組により発見	73.5%	アンケート調査など学校の取組により発見	62.0%
	②	本人からの訴え	11.8%	本人からの訴え	22.8%
	③	学級担任が発見	6.9%	学級担任以外の教職員が発見	5.4%
	④	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	5.9%	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	4.3%
	⑤	学級担任以外の教職員が発見	1.0%	学級担任が発見	3.3%
	⑥	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	1.0%	児童生徒（本人を除く）からの情報	2.2%
	⑦	養護教諭が発見	0.0%	養護教諭が発見	0.0%
	⑧	スクールカウンセラー等の相談員が発見	0.0%	スクールカウンセラー等の相談員が発見	0.0%
	⑨	児童生徒（本人を除く）からの情報	0.0%	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	0.0%
	⑩	地域の住民からの情報	0.0%	地域の住民からの情報	0.0%
	⑪	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.0%	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.0%
	⑫	その他（匿名による投書など）	0.0%	その他（匿名による投書など）	0.0%

5 いじめの態様（9項目から複数選択）

	順位	いじめの態様			
		令和4年度		令和3年度	
		内容	割合	内容	割合
小学校	①	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	59.7%	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	58.7%
	②	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	27.2%	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	27.0%
	③	仲間はずれ、集団による無視をされる。	19.1%	仲間はずれ、集団による無視をされる。	20.4%
	④	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする。	8.6%	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする。	9.8%
	⑤	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	5.9%	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	6.2%
	⑥	品物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	4.5%	品物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	5.2%
	⑦	パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	1.5%	パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	1.8%
	⑧	その他	1.4%	その他	1.5%
	⑨	品物をたかられる。	0.4%	品物をたかられる。	0.6%
中学校	①	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	69.2%	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	72.1%
	②	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	15.7%	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	14.0%
	③	仲間はずれ、集団による無視をされる。	13.5%	仲間はずれ、集団による無視をされる。	12.4%
	④	パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	10.7%	パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	9.4%
	⑤	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	5.4%	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	4.0%
	⑥	品物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	4.1%	品物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	3.7%
	⑦	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする。	3.6%	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする。	3.5%
	⑧	その他	0.9%	その他	0.5%
	⑨	品物をたかられる。	0.4%	品物をたかられる。	0.2%
高等学校	①	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	65.3%	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	66.2%
	②	パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	17.6%	パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	19.5%
	③	仲間はずれ、集団による無視をされる。	15.7%	仲間はずれ、集団による無視をされる。	16.5%
	④	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	8.4%	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	8.4%
	⑤	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	7.7%	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	4.3%
	⑥	品物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	3.6%	品物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	3.8%
	⑦	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする。	3.1%	その他	3.4%
	⑧	その他	2.1%	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする。	2.6%
	⑨	品物をたかられる。	1.3%	品物をたかられる。	1.5%
特別支援学校	①	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	62.7%	冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	57.6%
	②	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	14.7%	軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	18.5%
	③	パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	12.7%	パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	14.1%
	④	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	11.8%	仲間はずれ、集団による無視をされる。	10.9%
	⑤	仲間はずれ、集団による無視をされる。	7.8%	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする。	9.8%
	⑥	その他	6.9%	その他	9.8%
	⑦	ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする。	3.9%	嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	7.6%
	⑧	品物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	2.9%	品物を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	4.3%
		品物をたかられる。	0.0%	品物をたかられる。	3.3%

【参考】 いじめ防止対策推進法第28条第1項に規定する「重大事態」の発生件数

(国公立・小・中・高・特別支援学校合計)

	令和3年度	令和4年度
	発生件数	発生件数
計	14	34

※ いじめ防止対策推進法第28条第1項第1号に規定する「重大事態」は「いじめにより当該学校に在籍する児童等の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるとき」、同項第2号に規定する「重大事態」は「いじめにより当該学校に在籍する児童等が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるとき」である。

公立小・中学校の不登校

1 公立小・中学校における理由別長期欠席者数（上段）と1,000人当たりの理由別長期欠席者数（下段）

	令和4年度							令和3年度								
	不登校	うち前年度からの継続	うち90日以上欠席	経済的理由	病気	新型コロナウイルスの感染回避	その他	計	不登校	うち前年度からの継続	うち90日以上欠席	経済的理由	病気	新型コロナウイルスの感染回避	その他	計
小学校 (1,000人当たり)	3,713 (16.3)	1,530 (6.7)	1,992 (8.8)	0 (0.0)	1,642 (7.2)	1,216 (5.4)	1,788 (7.9)	8,359 (36.8)	3,221 (13.9)	1,263 (5.5)	1,658 (7.2)	0 (0.0)	1,189 (5.1)	1,409 (6.1)	1,134 (4.9)	6,953 (30.1)
中学校 (1,000人当たり)	8,463 (71.7)	4,344 (36.8)	5,536 (46.9)	0 (0.0)	1,971 (16.7)	629 (5.3)	639 (5.4)	11,702 (99.1)	7,243 (60.4)	3,633 (30.3)	4,767 (39.8)	0 (0.0)	1,574 (13.1)	407 (3.4)	354 (3.0)	9,578 (79.9)
計 (1,000人当たり)	12,176 (35.3)	5,874 (17.0)	7,528 (21.8)	0 (0.0)	3,613 (10.5)	1,845 (5.3)	2,427 (7.0)	20,061 (58.1)	10,464 (29.8)	4,896 (14.0)	6,425 (18.3)	0 (0.0)	2,763 (7.9)	1,816 (5.2)	1,488 (4.2)	16,531 (47.1)

※年度間に連続又は断続して30日以上欠席した児童生徒数を理由別に調査。

※令和2年度調査から「新型コロナウイルスの感染回避」欄を新たに設けた。

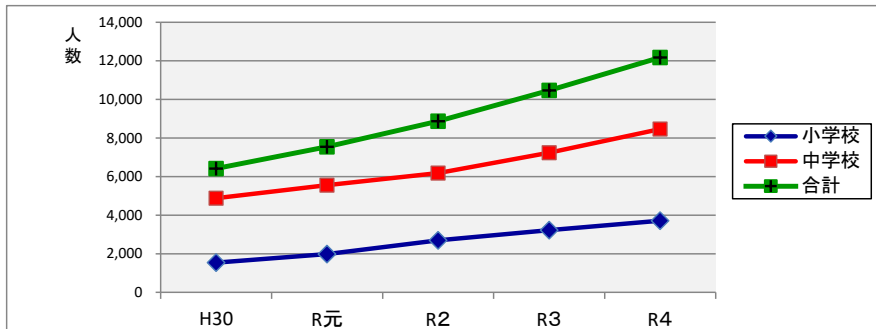
<不登校児童生徒数の前年度との比較>

- 小学校 ~ 492人増加
- 中学校 ~ 1,220人増加
- 全体 ~ 1,712人増加

2 不登校の経年変化

(1) 不登校の状況

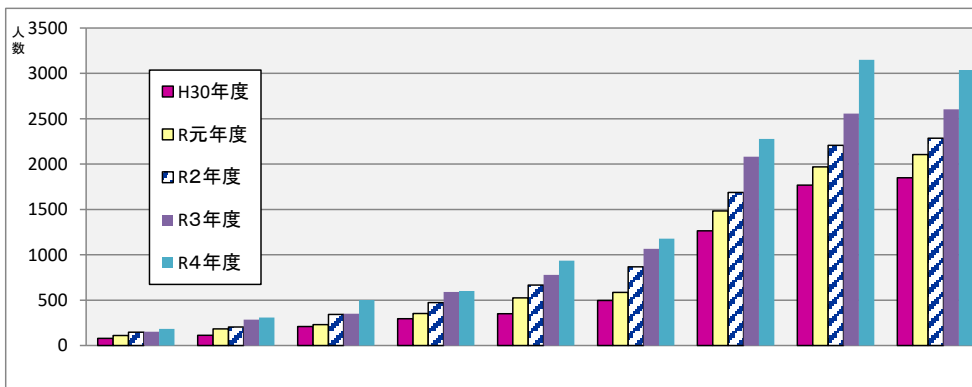
① 年度間に通算30日以上欠席した児童生徒のうち、不登校を理由とする児童生徒数の推移



② 不登校児童生徒数（上段）と1,000人当たりの不登校児童生徒数（下段）

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
小学校 (1,000人当たり)	1,539 (6.4)	1,986 (8.3)	2,696 (11.5)	3,221 (13.9)	3,713 (16.3)
中学校 (1,000人当たり)	4,881 (39.5)	5,558 (45.8)	6,177 (51.6)	7,243 (60.4)	8,463 (71.7)
合計 (1,000人当たり)	6,420 (17.6)	7,544 (21.0)	8,873 (25.0)	10,464 (29.8)	12,176 (35.3)

(2) 過去5年間の学年別不登校児童生徒数の推移



学年	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
H30年度	78	112	208	296	349	496	1,265	1,768	1,848
R元年度	109	184	231	354	524	584	1,484	1,968	2,106
R2年度	146	203	343	473	665	866	1,686	2,206	2,285
R3年度	152	284	350	591	778	1,066	2,082	2,556	2,605
R4年度	184	309	503	602	936	1,179	2,276	3,150	3,037

3 不登校の要因

区分 学校種	学校に係る状況								家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし	
	いじめ	いじめを除く友人関係をめぐり問題	教職員との関係をめぐり問題	学業の不振	進路に係る不安	クラブ活動、部活動等への不適応	学校のきまり等をめぐり問題	入学、転編入学、進級時の不適応	家庭の生活環境の急激な変化	親子の関わり方	家庭内の不和	生活のリズムの乱れ、あそび、非行	無気力、不安		
小学校	①主たるもの	6 0.2%	284 7.6%	106 2.9%	174 4.7%	13 0.4%	0 0.0%	13 0.4%	97 2.6%	103 2.8%	554 14.9%	41 1.1%	527 14.2%	1,726 46.5%	69 1.9%
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	0 0.0%	132 3.6%	55 1.5%	318 8.6%	19 0.5%	2 0.1%	31 0.8%	56 1.5%	76 2.0%	447 12.0%	30 0.8%	380 10.2%	384 10.3%	
中学校	①主たるもの	6 0.07%	1,167 13.8%	77 0.9%	796 9.4%	83 1.0%	36 0.4%	18 0.2%	485 5.7%	219 2.6%	436 5.2%	131 1.5%	753 8.9%	3,931 46.4%	325 3.8%
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	1 0.0%	397 4.7%	58 0.7%	717 8.5%	121 1.4%	55 0.6%	57 0.7%	208 2.5%	105 1.2%	454 5.4%	102 1.2%	562 6.6%	705 8.3%	
合計	①主たるもの	12 0.10%	1,451 11.9%	183 1.5%	970 8.0%	96 0.8%	36 0.3%	31 0.3%	582 4.8%	322 2.6%	990 8.1%	172 1.4%	1,280 10.5%	5,657 46.5%	394 3.2%
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	1 0.0%	529 4.3%	113 0.9%	1,035 8.5%	140 1.1%	57 0.5%	88 0.7%	264 2.2%	181 1.5%	901 7.4%	132 1.1%	942 7.7%	1,089 8.9%	

(注1) 「主たるもの」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した児童生徒全員につき、主たる要因を一つ選択。

(注2) 「主たるもの以外にも当てはまるもの」については、主たるもの以外で当てはまるものがある場合は、一人につき2つまで選択可。

(注3) 下段は、不登校児童生徒数に対する割合。

4 不登校児童生徒への指導結果状況

区分	小学校				中学校				計			
	人数		不登校児童に対する比率		人数		不登校生徒に対する比率		人数		不登校児童生徒に対する比率	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
指導の結果登校する又はできるようになった児童生徒	1,260	1,053	33.9%	32.7%	2,337	2,029	27.6%	28.0%	3,597	3,082	29.5%	29.5%
指導中の児童生徒	2,453	2,168	66.1%	67.3%	6,126	5,214	72.4%	72.0%	8,579	7,382	70.5%	70.5%
計	3,713	3,221			8,463	7,243			12,176	10,464		

5 学校内外の機関等で指導を受けた児童生徒の状況

区分	小学校				中学校				計			
	人数		不登校児童に対する比率		人数		不登校生徒に対する比率		人数		不登校児童生徒に対する比率	
	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3
指導を受けた児童生徒	2,965	2,563	79.9%	79.6%	6,277	5,627	74.2%	77.7%	9,242	8,190	75.9%	78.3%
指導を受けていない児童生徒	748	658	20.1%	20.4%	2,186	1,616	25.8%	22.3%	2,934	2,274	24.1%	21.7%
計	3,713	3,221			8,463	7,243			12,176	10,464		

令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（北海道）

公立高等学校の不登校

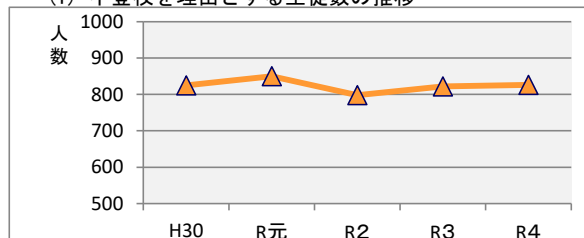
1 公立高等学校における理由別長期欠席者数（上段）と1,000人当たりの理由別長期欠席者数（下段）

年度	在籍数（人）	不登校	不登校		経済的理由	病気	新型コロナウイルスの感染回避	その他	計
			うち前年度からの継続	うち90日以上欠席					
令和4年度	82,434 (1,000人当たり)	826 (10.0)	125 (1.5)	243 (2.9)	10 (0.1)	1,275 (15.5)	796 (9.7)	1,132 (13.7)	4,039 (49.0)
令和3年度	85,593 (1,000人当たり)	822 (9.6)	189 (2.2)	262 (3.1)	34 (0.4)	819 (9.6)	791 (9.2)	1,059 (12.4)	3,525 (41.2)

※年間30日以上欠席した者

2 公立高等学校における不登校の状況

(1) 不登校を理由とする生徒数の推移



<不登校生徒数の前年度との比較>
○4人増加

【内訳】
全日制 625人（前年度 535人）
定時制 201人（前年度 287人）

(2) 不登校生徒数（上段）と1,000人当たりの不登校生徒数（下段）

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
不登校生徒数 (1,000人当たり)	825 (8.6)	850 (9.1)	798 (8.9)	822 (9.6)	826 (10.0)

※年間30日以上欠席した者のうち、主たる理由が「不登校」の者の数

3 学年別不登校生徒数

	不登校生徒数					
	令和4年度			令和3年度		
	人数 (1,000人当たり)	構成比		人数 (1,000人当たり)	構成比	
第1学年	178	(10.1)	21.5%	133	(7.2)	16.2%
第2学年	127	(7.3)	15.4%	125	(6.4)	15.2%
第3学年	97	(5.1)	11.7%	66	(3.2)	8.0%
第4学年	5	(16.3)	0.6%	2	(5.9)	0.2%
単位制	419	(14.9)	50.7%	496	(18.4)	60.3%

4 不登校の要因

区分 学校種		学校に係る状況										家庭に係る状況			本人に係る状況		左記に該当なし
		いじめ	人間関係	教員との関係	学業不振	進路に係る不安	クラブ等への活動不適	学校の問題	適学、入学、進級、転編の不適	家庭急激な生活環境変化	親子の関わり方	家庭内の不和	非行生活のありさ	無力感、不安			
全日制	①主たるもの	1 0.2%	106 17.0%	3 0.5%	25 4.0%	24 3.8%	6 1.0%	3 0.5%	67 10.7%	8 1.3%	20 3.2%	14 2.2%	56 9.0%	261 41.8%	31 5.0%		
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	0 0.0%	21 3.4%	3 0.5%	18 2.9%	25 4.0%	5 0.8%	2 0.3%	16 2.6%	6 1.0%	33 5.3%	5 0.8%	16 2.6%	56 9.0%			
定時制	①主たるもの	0 0.00%	32 15.9%	1 0.5%	17 8.5%	11 5.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.5%	2 1.0%	8 4.0%	14 7.0%	36 17.9%	56 27.9%	19 9.5%		
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	0 0.0%	1 0.5%	1 0.5%	1 0.5%	7 3.5%	1 0.5%	2 1.0%	2 1.0%	7 3.5%	9 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	6 3.0%			
合計	①主たるもの	1 0.12%	138 16.7%	4 0.5%	42 5.1%	35 4.2%	6 0.7%	3 0.4%	72 8.7%	10 1.2%	28 3.4%	28 3.4%	92 11.1%	317 38.4%	50 6.1%		
	②主たるもの以外にも当てはまるもの	0 0.0%	22 2.7%	4 0.5%	19 2.3%	32 3.9%	6 0.7%	4 0.5%	18 2.2%	13 1.6%	42 5.1%	5 0.6%	16 1.9%	62 7.5%			

(注1) 「主たるもの」については、「長期欠席者の状況」で「不登校」と回答した生徒全員につき、主たる要因を一つ選択。

(注2) 「主たるもの以外にも当てはまるもの」については、主たるもの以外で当てはまるものがある場合は、一人につき2つまで選択可。

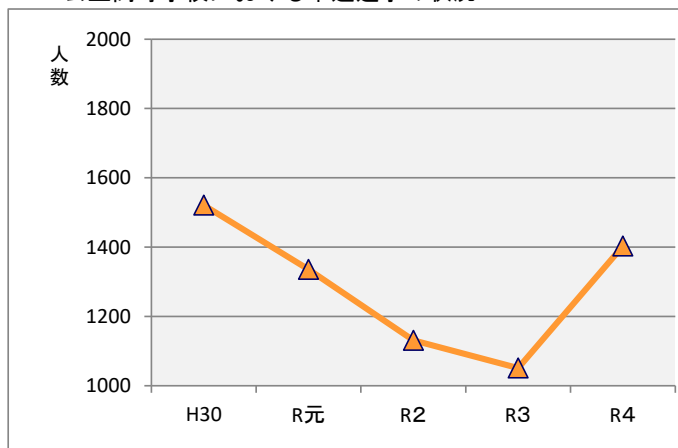
(注3) 下段は、不登校生徒数に対する割合。

5 学校内外の機関等で指導を受けた生徒の状況

区分	高等学校			
	人数		不登校生徒に対する比率	
	R4	R3	R4	R3
指導を受けた生徒	691	771	83.7%	93.8%
指導を受けていない生徒	135	51	16.3%	6.2%
計	826	822		

公立高等学校の中途退学

1 公立高等学校における中途退学の状況



<前年度との比較>
○352人増加

【内訳】
 全日制 868人（前年度 709人）
 定時制 290人（前年度 202人）
 通信制 245人（前年度 140人）

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
中途退学者数	1,521	1,336	1,131	1,051	1,403
(中途退学率)	(1.6%)	(1.4%)	(1.2%)	(1.2%)	(1.6%)

2 学年別中途退学者数

	中途退学者数								
	令和4年度			令和3年度			令和2年度		
	人数	(中退率)	構成比	人数	(中退率)	構成比	人数	(中退率)	構成比
第1学年	525	(2.8%)	37.4%	296	(1.6%)	28.2%	394	(1.9%)	34.8%
第2学年	340	(1.9%)	24.2%	228	(1.2%)	21.7%	234	(1.1%)	20.7%
第3学年	182	(0.9%)	13.0%	110	(0.5%)	10.5%	96	(0.4%)	8.5%
第4学年	40	(4.5%)	2.9%	12	(3.5%)	1.1%	2	(0.6%)	0.2%
単位制	316	(1.1%)	22.5%	405	(1.4%)	38.5%	405	(1.4%)	35.8%

3 中途退学理由（8項目の主たる理由から選び回答）

順位	中途退学理由					
	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
①	進路変更	62.9%	進路変更	57.5%	進路変更	62.0%
②	学校生活・学業不適應	22.1%	学校生活・学業不適應	30.1%	学校生活・学業不適應	26.1%
③	病気が死亡	3.7%	病気が死亡	5.0%	病気が死亡	3.6%
④	家庭の事情	3.3%	家庭の事情	2.7%	家庭の事情	3.0%
⑤	問題行動等	3.1%	その他の理由	2.2%	問題行動等	1.8%
⑥	その他の理由	2.8%	学業不振	1.9%	その他の理由	1.8%
⑦	学業不振	2.0%	問題行動等	0.7%	学業不振	1.5%
⑧	経済的理由	0.1%	経済的理由	0.0%	経済的理由	0.3%

※「その他の理由」とは、理由が不明なもの